



岡垣町ワンヘルス推進宣言

新型コロナウイルス感染症をはじめとする人獣共通感染症は、人口増加、森林開発や農地化などの土地利用の変化などが気候変動の一因となって生態系が劣化し、人と野生動物の生存領域が変化・近接して人と動物の関係性が変化したことから、動物の感染症に対する抵抗力を保有しない人にも感染するようになったとされています。

こうした中で人獣共通感染症に対応するため「人と動物の健康と環境の健全性は一つ」として捉える「ワンヘルス」の理念に基づく総合的な取り組みが求められています。

福岡県では、全国に先駆けて「福岡県ワンヘルス推進基本条例」を制定し、人と動物の健康及び環境の健全性を一体的に守るための6つの基本方針や行動計画を策定しました。

本町もこれまで「自然と共生する しあわせ実感都市 岡垣」を将来像に、人獣共通感染症対策をはじめ、健康づくりや動物愛護、鳥獣被害の防止、森林保全や食育の推進など、ワンヘルスにつながる取り組みを進めてきました。今後は、人と動物の健康及び環境の健全性を一体的に守り次世代に継承していくため、下記の事項に取り組み、ワンヘルスをよりいっそう推進していくことをここに宣言します。

記

- 1 ワンヘルス実践の基本方針を具体化する福岡県ワンヘルス推進行動計画に連携・協力するとともに、ワンヘルス実践施策を推進します。
- 2 町民へのワンヘルスの周知に努め、理解の促進を図り、その実践活動に対し、必要な支援を行います。

令和6年3月22日

岡垣町長 門司 晋